

# 「むさしのプレミアム」の 販売コーナーがJR武蔵境駅に登場

nonowa武蔵境EASTの「ころくや」に  
地域の自慢の味が集結しました。



## 地域の味を一度に楽しめる

6月10日、武蔵境駅に「nonowa 武蔵境EAST」がオープンし、青果店ころくやに「むさしのプレミアム」とその関連商品を30品目以上集めた販売コーナーが登場しました。「むさしのプレミアム」は、武蔵野市発のおみやげブランドの創出と地域活性化を目指して、武蔵野市観光機構が平成26年から始めた認定制度です。ころくやの食品マネージャー近藤正純さんは「良質だけど駅から遠くてなかなか買えなかった品が一度に買えると好評です。季節ごとに商品を替えていきますのでぜひお立ち寄りください」と話します。



販売コーナーには認定事業者を紹介するボードも設置。各認定店を訪問して話し合いを重ねてきた近藤さんは「お店の気持ちも届きたい」と語ります。



武蔵野地産の小麦に武蔵野市で収穫した地粉を配合した地粉うどん(武蔵野市観光機構)

「ころくや」の販売コーナーで人気急上昇した愛らしいクマのマドレーヌ※(ウルソン)



魚のすり身に、季節の具材などを混ぜたさつま揚げ※(塚田水産)



国際コンテストで金賞を受賞した本場ドイツと同じ材料・製法のソーセージ(マイスター・ムラカミ)



厳選した素材で、糖質を抑えつつも味わいの良いかりんとう(武蔵野花凛)



今回の販売は、地域に寄り添った駅づくりを進めるJR中央ラインモールのnonowa武蔵境を中心に4者の協力で実現しました。写真左から(株)ころくやの近藤正純さん、タリーズコーヒージャパン(株)の島田果奈さん、JR武蔵境駅の中村光治郎さん、(社)武蔵野市観光機構の谷口辰幸さん。

## タリーズコーヒーでは雑貨商品の展示も

nonowa武蔵境EASTのタリーズコーヒー店内では、雑貨部門のむさしのプレミアム商品を、魅力の紹介と共に展示しています。



※プレミアム認定商品ではなく、認定店の関連商品です